東温市事務事業評価シート　平成27年度実施事業対象

No.	025 — 1001	事務事業名	放課後児童指導事業（学童クラブ）	細事務事業名	放課後児童指導事業（学童クラブ）	公的関与	1

PLAN

課　名	保育幼稚園課	係　名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度　～　年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち	政策項目	5 子育て支援の充実	主要施策	(1)地域における子育て支援の充実	
事業の対象	保護者が就労等の理由により、昼間家庭において監護することができない世帯の児童（小学１～３年生）		根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法			
事業の目的	最終的	放課後に適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を行います。	今年度				
活動内容	①	児童の健康管理、安全確保及び情緒の安定を図ること	④				
	②	遊びの提供、児童の健全育成	⑤				
	③	児童の活動状況の把握及び家庭への連絡					

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標
	登録児童数	各児童クラブの登録数の合計	人	目標	180	200	350	400
				実績	217	261		
	クラブ数	市内の児童クラブ数	ヶ所	目標	5	7	9	12
				実績	5	7		
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	民生　費

直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備　考
	国・県支出金	12,823 千円	24,618 千円	46,882 千円	臨時職員(放課後児童支援員)の賃金については、直接事業費の中に含まれています。
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他特定財源	7,415 千円	7,662 千円	11,355 千円	
	一般財源	14,299 千円	5,879 千円	22,051 千円	
	計(A)	34,537 千円	38,159 千円	80,288 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.400 人　2,405 千円	0.400 人　2,409 千円	0.400 人　2,386 千円	
	臨時職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
全体事業費(A＋B)		36,942 千円	40,568 千円	82,674 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	共働き家庭・核家族化の増加に伴い、今後も必要性の高まりが見込まれます。
有効性	児童の健全育成のため、今後も一層の充実が必要です。
達成度	施設環境等について基準に沿った運営を進める必要があります。
効率性	小学校空き教室の有効利用と専門機関への事業委託について検討する余地があります。
当面の課題	平成29年度から放課後子ども教室が、放課後児童クラブに移行することに伴い、施設整備や支援員の確保が必要です。
改革計画	平成29年度から放課後子ども教室の移行により3クラブが新設されるため、支援員の増員、配置、運営方法について検討が必要です。

二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実

二次評価での指摘事項	平成28年度から対象児童を全学年に拡大するためのクラブ室増設と支援員の勤務体制の拡充・充実が図られました。 今後、「放課後子ども教室」の「放課後児童クラブ」へのスムーズな移行のため、施設整備や支援員の確保が必要です。

東温市事務事業評価シート　平成27年度実施事業対象

No.	025 — 1002	事務事業名	地域子育て支援センター運営事業	細事務事業名	地域子育て支援センター運営事業	公的関与	1

PLAN

課　名	保育幼稚園課	係　名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち	政策項目	5 子育て支援の充実	主要施策	(1)地域における子育て支援の充実	

事業の対象	子育て家庭	根拠法令	児童福祉法、子ども・子育て支援法
事業の目的	最終的	子育て支援や気になる子の早期発見、早期支援を行い、子どもの健全な生育を図ることを目的とします。	今年度

活動内容				
	①	育児不安等についての相談事業	④	親子遊びの広場開催
	②	子育てサークル等の支援	⑤	個別の支援・療育指導
	③	特別保育事業の支援		

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標
	あおぞら等広場参加者数	イベントの年間参加者延べ人数	人	目標	4,000	4,000	4,000	4,000
				実績	6,466	5,140		
	育ちの支援教室利用者数	年間延べ利用人数	人	目標	400	400	400	400
				実績	435	423		
	相談件数（面接・電話・訪問等）	年間相談件数	件	目標	200	200	200	200
				実績	251	218		

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	民生　費

直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備　考
	国・県支出金	4,968 千円	4,968 千円	7,014 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	12,486 千円	5,270 千円	7,176 千円	
	計（A）	17,454 千円	10,238 千円	14,190 千円	
人件費（B）	正職員工数・経費	1.250 人　7,516 千円	1.250 人　7,528 千円	1.250 人　7,455 千円	
	臨時職員工数・経費	3.000 人　5,829 千円	3.000 人　5,769 千円	3.000 人　5,781 千円	
全体事業費（A＋B）		30,799 千円	23,535 千円	27,426 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	核家族化等で育児不安を抱える家庭や、発達に支援が必要な児童が増えており、ニーズは年々増加しています。
有効性	センター事業は、連携を要する関係機関も多数あり、市が率先して実施すべきと考えます。
達成度	広場への参加人数や相談件数等概ね目標を達成していますが、ニーズの多様化等に併せた事業内容等の見直しは必要です。
効率性	効率的な運営のため、引き続き活用可能な補助金制度を積極的に取り入れます。
当面の課題	子育て家庭が参加しやすい、またニーズに応じた子育て支援を実施するとともに、支援が必要な子どもへの早期対応を行うため、各関係機関との連携を強化していく必要があります。
改革計画	引き続き、実務者会への専門機関の参加機会を設けるとともに、定期的に情報交換を実施し、支援が必要な子どものよりよい発達や、関係機関との効果的な連携につなげていきます。

二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

二次評価での指摘事項	育児不安を抱える家庭や発達に支援が必要な児童が増加しており、今後、センター機能の拡充はもとより、健康推進課や他の支援施設、事業所との連携強化が益々重要になると考えます。 今後、総合保健福祉健康センター建設に伴う機能移転の際には、これまでの事業を検証するとともに、新たな事業展開も視野に入れた検討が必要であると考えます。

東温市事務事業評価シート　平成27年度実施事業対象

No.	025 — 1003	事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業（養育支援訪問事業含む）	細事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業（養育支援訪問事業含む）	公的関与	1

PLAN

課名	保育幼稚園課	係名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	20 年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち	政策項目	5 子育て支援の充実	主要施策	(1)地域における子育て支援の充実	

事業の対象	生後4か月までの乳児のいる世帯		根拠法令	児童福祉法
事業の目的	最終的	乳児のいる家庭と地域社会をつなぐ最初の機会とすることにより、孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図ります。	今年度	
活動内容	①	対象家庭への案内後、訪問し、様々な不安・悩みを聞き、相談に応じるとともに、子育て支援に関する情報提供を行います。	④	
	②	訪問後、個別支援が必要と認められるケースについて、適宜、関係者・機関によるケース会議を開催し、適切な支援を講じます。	⑤	
	③	医療・療育機関と連携を図り、就園就学へスムーズにつなぎ、保護者の悩みや個々の発達支援に対応します。		

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標
	こんにちは赤ちゃん事業訪問件数	対象家庭の訪問件数	件	目標	250	250	250	対象全件
				実績	234	197		
	養育支援家庭訪問事業訪問件数	養育困難家庭の訪問件数（実家庭数）	件	目標	24	24	24	対象全件
				実績	24	9		
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	民生費

直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考
	国・県支出金	1,002 千円	840 千円	1,002 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	767 千円	736 千円	1,503 千円	
	計（A）	1,769 千円	1,576 千円	2,505 千円	
人件費（B）	正職員工数・経費	0.100 人　601 千円	0.100 人　602 千円	0.100 人　596 千円	
	臨時職員工数・経費	0.500 人　972 千円	0.500 人　962 千円	0.500 人　964 千円	
全体事業費（A＋B）		3,342 千円	3,140 千円	4,065 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	家庭環境の多様化、核家族化により、育児不安を抱える家庭が増加しているため、ニーズは年々高まっています。
有効性	家庭の状況により、母子保健事業と連携し、スムーズな支援につなげています。
達成度	概ね達成していますが、潜在的ニーズに応じるために、さらなる向上に努めます。
効率性	必要に応じて、母子保健事業と連携し、順調に実施されています。
当面の課題	支援が必要な家庭に対して、適切な対応ができるよう関係機関との連携の強化が必要です。
改革計画	子育て相談窓口を中心に、関係機関との情報交換や情報共有を行い、虐待の懸念がある家庭の早期発見・早期対応に努めます。

二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持

二次評価での指摘事項	子育てに関する情報提供と、支援が必要な家庭には適切なサービス提供につなげるため、引き続き関係課、関係機関と連携しながら事業を推進していく必要があります。

東温市事務事業評価シート　平成27年度実施事業対象

No.	025 — 1004	事務事業名	ﾌｧﾐﾘｰ・ｻﾎﾟｰﾄ・ｾﾝﾀｰとうおん運営事業	細事務事業名	ﾌｧﾐﾘｰ・ｻﾎﾟｰﾄ・ｾﾝﾀｰとうおん運営事業	公的関与	1

PLAN

課　名	保育幼稚園課	係　名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	14 年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち	政策項目	5 子育て支援の充実	主要施策	(1)地域における子育て支援の充実	

事業の対象	育児の手助けを必要とされる方（児童の年齢は0歳から12歳まで）、育児の支援を行いたい方	根拠法令		
事業の目的	最終的	子育て家庭に対して、安心して子育てできる環境を提供し、相互援助活動を行います。	今年度	広報等の周知による増員、会員に対する研修会、交流会を積極的に行い、事業の一層の充実に努めます。
活動内容	①	幼稚園、保育施設の保育時間前や終了後の預かり、送迎	④	出産前後で子どもの世話ができない時の預かり
	②	子育て相談	⑤	会員を対象とした研修会、交流会の実施
	③	病後の回復期にある子どもの世話		

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標
	登録会員数	利用会員、協力会員、両方会員の合計	人	目標	270	270	270	300
				実績	293	293		
	事業利用件数	相互援助活動数	件	目標	900	900	900	900
				実績	614	532		
	講習会・交流会参加人数	延べ人数	人	目標	250	250	250	250
				実績	145	163		

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	民生　費

直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備　考
	国・県支出金	1,180 千円	2,106 千円	2,106 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	2,033 千円	1,213 千円	2,397 千円	
	計（A）	3,213 千円	3,319 千円	4,503 千円	
人件費（B）	正職員工数・経費	0.050 人　301 千円	0.050 人　301 千円	0.050 人　298 千円	
	臨時職員工数・経費	1.000 人　1,943 千円	1.000 人　1,923 千円	1.000 人　1,927 千円	
全体事業費（A＋B）		5,457 千円	5,543 千円	6,728 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	核家族化や人間関係の希薄化で子育て支援のニーズが高まる中、地域の相互援助活動組織として、サポートする重要な事業と思われます。
有効性	共働きや核家族化により子育て支援を必要とする家庭は、増加しており有効と考えます。
達成度	多様なニーズに柔軟に対応するため、協力会員の確保は不可欠であり周知が必要です。
効率性	アドバイザー1人で効率よく業務を行っています。
当面の課題	協力会員の高齢化・人材不足により、十分な対応が難しくなっています。多様化するニーズに対応するため、協力会員の確保が急務と考えます。
改革計画	広報等で周知を図り、有償ボランティアとしてプラスのイメージが持てるよう事業の啓発が必要です。

二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実

二次評価での指摘事項	事業の必要性、利用ニーズは更に増大すると思われます。更なる周知により協力会員の確保が必要です。

東温市事務事業評価シート　平成27年度実施事業対象

No.	025 — 1005	事務事業名	児童館管理運営業務	細事務事業名	児童館管理運営業務	公的関与	1

PLAN

課名	保育幼稚園課	係名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp
事業区分	内部管理事務・その他	事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち	政策項目	5 子育て支援の充実	主要施策	(1)地域における子育て支援の充実	

事業の対象	18歳未満の児童及びその保護者等	根拠法令	児童福祉法、東温市立児童館条例
事業の目的	最終的：健全な遊びを通じて、その健康を推進し、または情操を豊かにします。	今年度	
活動内容	① 創作・文化活動	④ 特別事業	
	② 視聴覚活動	⑤ ボランティア事業	
	③ 集団遊び活動		

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標
	イベント実施数	ボランティアまたは事業協力者によるものを含む	回	目標	250	300	300	350
				実績	250	300		
	利用者	来館者数	人	目標	40,000	50,000	60,000	70,000
				実績	44,972	63,219		
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	民生費

直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	
	一般財源	24,362 千円	35,602 千円	45,496 千円	
	計(A)	24,362 千円	35,602 千円	45,496 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人　3,007 千円	0.500 人　3,011 千円	0.500 人　2,982 千円	
	臨時職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
全体事業費(A＋B)		27,369 千円	38,613 千円	48,478 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	利用ニーズは、年々高まっており、今後も継続して実施する必要があります。
有効性	よしいのこども館の開館により、利用者も増加しており、新しいイベントにも積極的に取り組んでいます。
達成度	利用者は、増加傾向にあり概ね目標を達成していると考えます。
効率性	よしいのこども館の夜間運営については、効率性を考慮し、長期的視野で検討が必要と考えます。
当面の課題	よしいのこども館の開館に伴い、中高生向けのイベントを打ち出す等、各館の特色が生かせるよう検討・アピールが必要と考えます。
改革計画	サービス充実のため、引き続き専任館長の配置、児童厚生員等の増員等質の向上に努めます。

二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持

二次評価での指摘事項	新たなイベントの提案やサービス向上など、一層の事業内容の充実に努める必要があります。

東温市事務事業評価シート　平成27年度実施事業対象

No.	025 — 1011	事務事業名	児童館建設事業（繰越含む）	細事務事業名		公的関与	1

PLAN

課名	保育幼稚園課	係名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp
事業区分	ハード事業	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	25 年度 ～ 27 年度
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち	政策項目	5 子育て支援の充実	主要施策	(1)地域における子育て支援の充実	

事業の対象	児童及びその保護者等	根拠法令	児童福祉法、東温市立児童館条例
事業の目的	最終的：南吉井地区に児童館及び放課後児童クラブを新たに建設します。	今年度	継続工事を完成させ、開館します。
活動内容	①建設検討委員会を開催します。	④備品類の購入を行います。	
	②建築主体工事、電気設備工事、外構工事を継続実施します。	⑤	
	③施工監理体制を図ります。		

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標
	建設検討委員会	実施回数	回	目標	4	1	—	—
				実績	4	1		
	関係工事	建築主体工事、電気設備工事、外構工事の実施	式	目標	1	1	—	—
				実績	1	1		
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	民生費

直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考
	国・県支出金	0 千円	31,191 千円	— 千円	
	地方債	132,400 千円	118,700 千円	— 千円	
	その他特定財源	0 千円	0 千円	— 千円	
	一般財源	9,359 千円	14,573 千円	— 千円	
	計（A）	141,759 千円	164,464 千円	0 千円	
人件費（B）	正職員工数・経費	0.500 人　3,007 千円	0.300 人　1,807 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
全体事業費（A＋B）		144,766 千円	166,271 千円	0 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	新市建設計画掲載事業であり、地域住民からの要望も強いことから、事業の必要性は高いと考えます。
有効性	児童数の多い地区での開館となるため、多くの利用が期待されます。また、児童健全育成の拠点としての役割を担います。
達成度	事故もなく、概ね順調に進捗し、工事の完成を迎えることができ、目標は達成しています。
効率性	有効な補助金や地方債を活用し、適正な施工が図られました。
当面の課題	施設の適正な維持管理を継続させることで、事故防止は無論、良好な状態での健全育成を図る必要があります。
改革計画	常勤の館長及び運営委託先の人員拡充を図り、施設の異常を監視すると共に美観にも努めます。

二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	廃止/休止

二次評価での指摘事項	当初計画のとおり事業を進捗することができました。今後、適切な管理運営に努める必要があります。

東温市事務事業評価シート　平成27年度実施事業対象

No.	025 — 1014	事務事業名	利用者支援事業	細事務事業名		公的関与	4

PLAN

課　名	保育幼稚園課	係　名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	27 年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち	政策項目	5 子育て支援の充実	主要施策	(1)地域における子育て支援の充実	

事業の対象	子ども及びその保護者、または妊娠している者	根拠法令	子ども・子育て支援法
事業の目的	最終的	教育・保育施設や子育て支援事業を円滑に利用できるよう、当事者目線の寄り添い型の支援を実施します。	今年度	専門員や補助員を増員し、きめ細やかな対応に当たります。
活動内容	①	保育所・認定こども園・地域型保育事業所の紹介、利用調整	④	
	②	地域子育て支援事業の紹介、利用支援	⑤	
	③	育児相談全般		

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標
	面談件数	窓口に来られた人数	人	目標	—	400	450	500
				実績	—	480		
	相談（電話等）件数	年間相談件数	件	目標	—	100	150	200
				実績	—	96		
	訪問件数	年間訪問件数（家庭・事業参加・保育事業所等）	回	目標	—	30	35	50
				実績	—	30		

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	民生費

		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考
直接事業費	国・県支出金	— 千円		151 千円		869 千円		
	地方債	— 千円		0 千円		0 千円		
	その他特定財源	— 千円		0 千円		0 千円		
	一般財源	— 千円		75 千円		435 千円		
	計（A）	0 千円		226 千円		1,304 千円		
人件費（B）	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	1.500 人	2,885 千円	3.000 人	5,781 千円	
全体事業費（A＋B）		0 千円		3,111 千円		7,085 千円		

CHECK・ACTION

一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	核家族化の進行や乳幼児期の保育の多様性から、何でも相談できる窓口として必要です。
有効性	長年本市で保育所長・幼稚園長を経験した者が専門員として配置されており、豊富な知識により丁寧な対応ができています。
達成度	相談者からの不満の声はなく、必要な家庭状況に応じて、複数回の相談・支援を行っています。
効率性	人が人に行う支援ですので、代替え施策はないため、今後も交付金制度を活用しながら適正に実施していきます。
当面の課題	相談場所は子育て支援センターと東温市役所ですが、より身近な場所で気軽に相談できる体制づくりが必要です。
改革計画	支援専門員が公民館や児童館を利用して、出張相談室を開設するなど利便性の向上を図ります。

二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持

二次評価での指摘事項	平成28年度から専門員、補助員とも増員し、相談、支援体制を更に強化します。引き続き適切な実施に努める必要があります。

東温市事務事業評価シート　平成27年度実施事業対象

No.	025 — 1015	事務事業名	くすのき児童クラブ建設事業	細事務事業名		公的関与	1

PLAN

課　名	保育幼稚園課	係　名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp
事業区分	ハード事業	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	27 年度 ～ 27 年度
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち	政策項目	5 子育て支援の充実	主要施策	(1)地域における子育て支援の充実	
事業の対象	就労等により家庭内で監護できない小学校に在籍する児童		根拠法令	児童福祉法			
事業の目的	最終的	小学6年生までの児童受入拡大に伴う施設整備を行います。	今年度	川上くすのき児童クラブを老朽化と受入人数の確保対策のため、新たに施設を整備します。			
活動内容	①	建設に係る設計業務を実施します。	④				
	②	建築工事、電気設備工事、機械設備工事を実施します。	⑤				
	③	健全育成に必要な備品類を充実させます。					

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標
	利用児童	利用を希望する児童の受入	人	目標	—	50	100	100
				実績	—	68		
	関係工事	建築工事、電気設備工事、機械設備工事の実施	式	目標	—	1	—	—
				実績	—	1		
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	民生　費

直接事業費		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備　考
	国・県支出金	— 千円	34,820 千円	— 千円	
	地方債	— 千円	34,200 千円	— 千円	
	その他特定財源	— 千円	0 千円	— 千円	
	一般財源	— 千円	4,518 千円	— 千円	
	計(A)	0 千円	73,538 千円	0 千円	
人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.300 人　1,807 千円	0.000 人　0 千円	
	臨時職員工数・経費	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	0.000 人　0 千円	
全体事業費(A＋B)		0 千円	75,345 千円	0 千円	

CHECK・ACTION

一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	放課後等の児童の適切な遊びや生活を提供する場として必要であり、対象児童拡充に伴う対策のため緊急性が高い事業です。
有効性	事業を実施するため必要であり、学校・地域・家庭との連携の場としても有効活用されます。
達成度	当初の予定通りに施工され、拡充分の児童受入も可能となりましたので、目標は十分に達成されています。
効率性	有効な交付金や地方債を活用し、一般財源の支出を押さえることができています。
当面の課題	施設の適正な維持管理を継続させることで、事故防止は無論、良好な状態での健全育成を図る必要があります。
改革計画	常勤の職員を配置し、施設の異常を監視すると共に美観にも努めます。

二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	廃止/休止

二次評価での指摘事項	当初計画のとおり事業を進捗することができました。今後、適切な管理運営に努める必要があります。

東温市事務事業評価シート　平成27年度実施事業対象

No.	025 — 1016	事務事業名	婚活支援事業	細事務事業名		公的関与	1

PLAN

課　名	保育幼稚園課	係　名	子育て支援係	電話番号	089-964-4484	メールアドレス	hoikuyoutien@city.toon.ehime.jp
事業区分	ソフト事業	事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	27 年度 ～ 年度　期間設定なし
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち	政策項目		主要施策		

事業の対象	市内在住、在勤の２０歳以上の独身男女	根拠法令	
事業の目的	最終的	結婚について意識啓発を図ることで、結婚する人が増し、少子化の抑制を目指します。	今年度	婚活応援講座を開催し、人生設計を学び考える場を提供します。
活動内容	①	自分磨きやコミュニケーション能力の向上を図ります。	④	
	②	地域の実情を紹介し、婚活イベントの参加促進を促します。	⑤	
	③	個別の相談に応じ、婚活者をサポートします。		

成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標
	講座回数	年間の婚活応援講座開催回数	回	目標	—	1	2	3
				実績	—	1		
	参加人数	講座に参加した延べ人数	人	目標	—	80	80	120
				実績	—	58		
				目標				
				実績				

DO

予算費目	会計	一般会計	費目名	民生　費

		平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備　考
直接事業費	国・県支出金	— 千円		0 千円		0 千円		
	地方債	— 千円		0 千円		0 千円		
	その他特定財源	— 千円		0 千円		0 千円		
	一般財源	— 千円		196 千円		788 千円		
	計（A）	0 千円		196 千円		788 千円		
人件費（B）	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.100 人	602 千円	0.100 人	596 千円	
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	
全体事業費（A＋B）		0 千円		798 千円		1,384 千円		

CHECK・ACTION

一次評価者	子育て支援係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持

項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）
必要性	人口減少の抑制を図る観点から、本市でも総合戦略に位置づけており、結婚を行政が支援していくことは必要と考えています。
有効性	まずは、結婚への意識付けが必要ですので、講座を開催し広く啓発しています。今後は婚活イベントの開催等を検討していきます。
達成度	講座参加者から概ね高評価を得ており、次回開催要望も多数あったことから、当初の目的は達成できています。
効率性	民間の婚活イベントとも共同し、経費節減と広報活動に努めます。
当面の課題	講座は一定の効果があるものの、結婚へと直結するものではないため、実態として見え難い特性があります。講座の開催と並行して出会いの場（イベント）の提供を今後は検討していく必要があります。
改革計画	生活圏を同じくする松山圏域内の自治体が共同し、婚活支援イベント等を開催します。

二次評価者	保育幼稚園課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実

二次評価での指摘事項	総合戦略にも掲げられており、セミナー、イベント、サポーター育成等効果的な事業展開が求められます。